【別紙】令和３年度　学 校 自 己 評 価 重 点 目 標 シ ー ト　（川口市立高等学校　全日制）

（Ａ４判横）

学校教育目標	未来を創る　しなやかでたくましい人材の育成
目指す学校像	新しい時代の教育を創造し、しなやかでたくましい人材を育てる川口市のリーディング校

達成度		
	A	ほぼ達成（８割以上）
	B	概ね達成（６割以上）
	C	変化の兆し（４割以上）
	D	不十分（４割未満）

※学校関係者評価実施日とは、学校関係者評価委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	
学校関係者（教職員を除く）	名
事務局（教職員）	名

学　校　自　己　評　価							学　校　関　係　者　評　価
領　域	年　度　目　標			年　度　評　価　（令和　年　月　日　現在）			※実施日　平成　年　月　日
	現状と課題	重点目標	具体的方策	重点目標の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
組織運営	・川口市のリーディング校として国公立・難関大学進学を目指す文武両道の進学校として子供達が憧れる市民の期待に応えることが求められている	「進学校としての基盤を確立する」 ①スポーツ科学コースと特進クラスの充実を図る ②政策アドバイザーを活用して学校運営の機能強化を図る	①特進クラス・スポーツ科学コースの魅力づくり ・土曜講習の充実 ・部活動の活性化 ・SSH申請と理数科教育の充実 ②政策アドバイザー会議の定例化				
教育課程	・新教育課程を市教委・県教委と連携して作成し令和４年度実施に向けて各教科等で準備をする必要がある ・コロナ禍による臨時休校も視野に入れリモート学習等の精度を上げる準備が必要である	「国公立難関大進学に対応する教育課程を編成する」 ③国公立大合格50名以上を目指す ④部活動加入率90％以上	・国公立大進学に対応する教育課程を編成 ③１、２年次から目標を確認した計画的・系統的な進路指導を行う ④部活動と学習の両立、放課後自学習環境の整備				
開かれた学校づくり	・新設校として認知度を高めるために、コロナ禍にあってもスポーツ科学コースや附属中学校など学校教育活動の様子や生徒の顔が見える丁寧な情報発信が必要である	「学校を核とした地域づくりを進め、リーディング校としての役割を果たす」 ⑤コロナ感染防止策を講じた教育事業の開催 ⑥昨年度以上の志願倍率を目指す ⑦ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞのリニューアル	⑤市教委事業の会場として協力（５事業以上） ・高校の教育資源を活用した小中学生向けプログラムの実施（体験型のプログラム３事業以上実施） ・中学校教職員対象の進路指導研修会の新設				
教職員の資質向上	・政策アドバイザーをはじめとする川口市独自の人材配置を研修に活用しきれていない ・最新鋭の施設・設備や立地条件などから大学や研究機関から協力が受けやすい	**「授業第一主義」** ⑧グループ研究を実施し成果を学校運営に反映させる ⑨政策アドバイザー、AL支援員等を活用してICTやALの研修を充実させる	⑧教職員グループ研修の奨励（４グループ程度） ・校外研修、先進校視察（延べ２０名以上） ・未来を拓く学びプロジェクトに全教科が参加 ⑨政策アドバイザーを指導者とした研修を実施				
施設・設備等の管理	・自転車事故、不審者・防犯対策、本校独自の安全面への配慮が必要となる ・附属中との円滑な施設共用を進める必要がある ・ICTをはじめとする最新鋭の施設を教育活動に効果的に活用する必要がある	**「最新鋭の設備の効果的活用と安全への配慮」** ⑩自転車事故防止をはじめ本校特有の課題に対して安心・安全の確保に努める ⑪GIGAスクールとBYOD導入による新たなICT環境を構築する	⑩自転車事故防止の登校指導、不審者・防犯対策 ⑪BYOD導入方針の決定とICTの有効活用にに向けたネットワーク環境の整理と見直しを行う				